

“魅せるプレー”で  
皆に元気を与えたい。

「スポーツは観客があつてこそ。僕のプレーで、観た人を楽しませたいです」。経済学部4年次生の宮本涼平さんは、車いすバスケの選手。今年9月にタイ・ブーケットにて開催される男子U23世界選手権に向けて、日々練習に励んでいます。

元々はサッカー少年だった宮本さん。高校で始めた自転車競技の事故で車いす生活になり、このスポーツと出会いました。「足の競技一筋だったので、ゼロからのスタート。ターニングポイントになったのはアメリカでのキャンプでした」。そこで目にしたのは、多様な個性の選手がお互いをリスペクトしながらプレーを楽しむ姿。これを機に車いすバスケに熱中し、競技を始めて3年目でU23代表に選出。いち選手としてだけでなく、キャプテンとしてもチーム作りに力を注ぎます。

現在は、滋賀県が拠点の社会人チーム「LAKE SHIGAB.C」に所属し、まさに文武両道の学生生活。「大学ではスタッフや友人に助けってもらって、心はバリアフリー。一人暮らしも経験し、自立できたと思います」。そんな宮本さんの目標は、2024年のパリ・パラリンピック出場。「とにかく必死に練習して金メダルを取りたいです」。

車いすバスケは鉄がぶつかる音が迫力満点で、「全身で感じられるスポーツ」とのこと。その魅力は、ぜひ生で観戦したいところ。宮本さんのプレーに今後も目が離せません。

これからの目標は、  
パリでの金メダル獲得！

みやもと・りょうへい ●  
小・中学生時代はサッカー中心で、京都サンガF.C.のU15に所属。2018年に男子U23車いすバスケの日本代表として選手デビューし、2019年には日本代表強化指定選手にも選出。広い視野を生かしたプレーが持ち味。

U23日本代表として躍進中！  
現役OGU生、  
車いすバスケで  
世界へ。

経済学部 4年次生

宮本 涼平さん

WHEELCHAIR BASKETBALL PLAYER :  
RYONEI MIYAMOTO